

どこで学んでも、 その子の未来はつながっている

今、ここから
未来へ

～不登校の子どもたちの「学びの保障」に向けて～

学校に行くことが難しい状況になっても、
学びが途切れることなく、その子に合った方法で学び、
人とつながり、成長していける環境をつくることが大切です。



港区では、学校への登校だけにとらわれない
多様な学びの選択肢を整えています

校内別室での支援



学校の中で安心して
過ごしなが、学びを
続けられる環境を
整えています。

教育支援センター 「つばさ」



一人ひとりの状況に
応じた学習や相談を
行っています。

Minato School



自分のペースで
学じなが、
人とのつながりを
育める場です。

フリースクール への支援



多様な学びの場での
活動を支援
しています。

オンラインを 活用した学習



自宅からでも
学びを続けられる
環境を整えています。

VLP (バーチャル・ラーニング・ プログラム)



**2026年9月から
スタートしました。**
オンラインも活用し、
社会的自立に向けた
支援を行っています。

不登校支援のゴールは？

学校に戻ることをゴールにするのではなく、
その子が自分に合った学びの場とつながり、
将来に向けて社会的に自立していくことも、
大切な支援の目的です。

♡「不登校」という言葉の捉え方

「不登校の
児童・生徒」



「不登校している
児童・生徒」

不登校はその子自身の属性ではなく、
「今、そういう状態にある」と捉えることができます。

一人ひとりの状況に目を向けて

今は学校には行っていない。
でも、別の場所で学んでいる

今は少し休んでいる

自分に合った学び方を探している

大切なのは、「学校に行っているか、行っていないか」ではなく、

「その子の学びが保障されているか」